

## 目 次

CV ケーブルおよび接続部の高電圧試験法	CVケーブル高電圧試験法 専門委員会
委員会組織	( 1 )
第1章 総 論	( 7 )
1-1 委員会設立の目的	( 7 )
1-2 委員会の構成と運営	( 7 )
1-3 従来の CV ケーブル高電圧試験法の考え方	( 7 )
1-4 本委員会での主な調査事項と成果	( 8 )
1-5 新しい CV ケーブル高電圧試験法の考え方	( 9 )
1-6 まとめ	( 10 )
第2章 CV ケーブル線路の必要性能	( 10 )
2-1 設備・トラブル実態	( 10 )
2-2 導体許容温度と負荷パターン	( 10 )
2-3 ケーブル系統の過電圧とその評価	( 12 )
2-3-1 過電圧の種類	( 12 )
2-3-2 試験電圧の現状	( 12 )
2-3-3 過電圧の調査と検討結果	( 15 )
2-3-4 国内外試験規格調査	( 18 )
2-4 まとめ	( 18 )
第3章 CV ケーブルの諸特性	( 22 )
3-1 導体許容温度	( 22 )
3-2 交流電圧特性	( 26 )
3-2-1 初期破壊特性	( 27 )
3-2-2 長期破壊特性	( 30 )
3-2-3 温度依存性	( 31 )
3-2-4 まとめ	( 31 )
3-3 雷インパルス電圧特性	( 32 )
3-3-1 初期破壊特性	( 32 )
3-3-2 繰り返し課電特性	( 37 )
3-3-3 温度依存性	( 37 )
3-3-4 まとめ	( 38 )
3-4 開閉インパルス電圧特性	( 38 )
3-4-1 緩波頭波インパルス電圧に対する特性	( 38 )
3-4-2 減衰振動波電圧に対する特性	( 40 )
3-4-3 急峻波インパルス電圧に対する特性	( 42 )
3-4-4 まとめ	( 43 )
3-5 直流電圧特性	( 44 )

3-5-1	直流破壊特性の状況	( 44 )
3-5-2	直流漏れ電流特性	( 47 )
3-5-3	まとめ	( 47 )
3-6	異物・ボイド・半導電層突起	( 48 )
3-6-1	異物・ボイド・半導電層突起に関する諸特性	( 48 )
3-6-2	部分放電の測定技術	( 58 )
3-6-3	まとめ	( 60 )
第4章 接続部の諸特性		( 61 )
4-1	接続部の構造と許容温度	( 61 )
4-1-1	接続部の構造	( 61 )
4-1-2	接続部の許容温度	( 67 )
4-1-3	まとめ	( 68 )
4-2	交流電圧特性	( 68 )
4-2-1	初期破壊特性	( 68 )
4-2-2	長期破壊特性	( 72 )
4-2-3	温度依存性	( 74 )
4-2-4	まとめ	( 76 )
4-3	雷インパルス電圧特性	( 77 )
4-3-1	初期破壊特性	( 77 )
4-3-2	繰り返し課電特性	( 80 )
4-3-3	温度依存性	( 81 )
4-3-4	まとめ	( 82 )
4-4	開閉インパルス特性	( 83 )
4-4-1	各種構成材料の開閉インパルス特性	( 83 )
4-4-2	各種接続部の開閉インパルス特性	( 85 )
4-4-3	まとめ	( 85 )
4-5	直流電圧特性	( 85 )
4-5-1	直流電圧課電の影響	( 85 )
4-5-2	直流電圧課電時の電位分布	( 86 )
4-5-3	まとめ	( 86 )
4-6	接続部の異物・ボイド・半導電層突起	( 88 )
4-6-1	接続部の性能支配要因	( 88 )
4-6-2	有害異物・ボイド・半導電層突起の算出	( 88 )
4-6-3	欠陥検出方法	( 90 )
4-6-4	施工環境	( 91 )
4-6-5	まとめ	( 92 )
第5章 現地試験法		( 92 )
5-1	現状の現地試験法	( 92 )
5-1-1	現状の国内における現地試験法	( 92 )
5-1-2	国外での現地試験法	( 93 )
5-1-3	まとめ	( 95 )
5-2	現地試験における欠陥検出の実態	( 95 )
5-2-1	実線路における絶縁破壊状況	( 95 )

5-2-2 施工欠陥の初期特性	( 98 )
5-2-3 施工欠陥の時間特性	( 103 )
5-2-4 まとめ	( 105 )
5-3 欠陥検出法に関する技術動向	( 106 )
5-3-1 耐電圧試験による欠陥検出法	( 106 )
5-3-2 その他の電気的手法による欠陥検出法	( 106 )
5-3-3 非電気的手法による欠陥検出法	( 114 )
5-3-4 現地試験としての適用性評価	( 114 )
5-3-5 まとめ	( 116 )
 第 6 章 今後の高電圧試験法	( 117 )
6-1 適用範囲	( 117 )
6-2 試験の目的	( 117 )
6-3 試験の種別	( 117 )
6-4 各試験項目の考え方	( 119 )
6-4-1 長期課通電試験	( 120 )
6-4-2 耐電圧試験	( 121 )
6-4-3 異物・ボイド・半導電層突起試験	( 121 )
6-4-4 出荷耐電圧試験	( 122 )
6-4-5 現地耐電圧試験	( 122 )
6-5 CV ケーブルおよび接続部の高電圧試験法	( 123 )
6-5-1 開発試験	( 123 )
6-5-2 形式試験	( 124 )
6-5-3 受入試験	( 126 )
6-6 CV ケーブル線路の現地試験法	( 127 )
6-6-1 現地試験法の目的	( 128 )
6-6-2 CV ケーブル線路における初期破壊欠陥の種別	( 128 )
6-6-3 現地試験法(高電圧試験法)の種類	( 128 )
6-6-4 直流耐電圧試験の考え方	( 129 )
6-6-5 交流耐電圧試験の考え方	( 129 )
 第 7 章 今後の課題	( 134 )
付録 I 異物・ボイド・半導電層突起試験方法	( 136 )
付録 II CV ケーブル絶縁厚の現状と低減検討	( 140 )